

環境学習コーディネート実施概要（Web 掲載）

依頼No.	12	事例No.	10	依頼者	刈谷市立亀城小学校 PTA	実施場所	刈谷市立亀城小学校 体育館
実施対象	在校生（小学校高学年）の保護者（PTA 主催の講演会として行われた）						
実施日時	平成 30 年 9 月 14 日（金）10 時～11 時（1 時間）						
テーマ	気象問題や環境問題を自分ごととして考えるきっかけづくりとしたい。						

●依頼内容

小学校高学年の保護者向けに、防災や環境教育を切り口とした環境・教育問題について自分のこととして捉えるきっかけづくりとして、講演をしてほしい。

●講師：気象予報士 早川敦子氏

フリーアナウンサーとして、企業や自治体のイベントなどでの司会も多数経験しており、2003 年には気象予報士の資格も取得。以降、地球温暖化や環境問題をテーマにした講演会や小学校への出前授業なども行っている。現在は名古屋文化短期大学専任講師、中京大学非常勤講師として「人前で話す技術」や「コミュニケーション」についての講義をしている。

●授業の内容

気候変動と身近な防災に関する講義実施	講師紹介	PTA 会長及び小学校校長のあいさつ、講師の紹介をしました。	5 分
	座学	<p>「地球温暖化と私たちの暮らし～頻発する異常気象に備える～」をテーマに、冒頭は、最近の猛暑に関する気象記録の更新状況等が紹介され、参加者の多くが興味を引き付けられた。続いて、熱中症の発生状況、都市におけるヒートアイランドの問題、さらには、地球規模での気候変動状況等、昨今の気象・環境問題について、様々なグラフや表を用いながら講義が進められました。</p> <p>次に、台風や、気象災害に係る様々な事例等が過去の写真や新聞記事などをもとに紹介されました。その結果、防災や環境について身近な問題として理解を深めることができました。</p> <p>最後に様々な情報があふれる社会のなかで、情報を有効に利用しながら生活していくことや五感を研ぎ澄ましなが生活することの大切さが語られ、防災や環境に対する意識付け・動機付けを行ってまとめました。</p>	55 分

●授業の様子

参加者は、会場で配布された刈谷市内のハザードマップを見ながら、熱心に聴き入っていました。災害時に自分たちがどう行動すべきかを家族で話し合うためのよいきっかけとなったようです。

配布されたハザードマップを見ながら、講義の開始を待つ参加者のみなさん。



パワーポイントを用いた講義の様子。

